

第63回国民体育大会ウエイトリフティング競技 リハーサル大会を終えて

「チャレンジ! おおいた国体」国東市実行委員会事務局長 中野 光二

さわやかな秋晴れのもと、全国から大勢の選手・監督・大会関係者の皆様をお迎えし、「第63回国民体育大会ウエイトリフティング競技リハーサル大会」が成功裏のうちに終了することができましたことは、本大会の開催にあたりご協力をいただきました関係者の皆様のご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

当市実行委員会では、平成17年7月の第63回国民体育大会の大分県開催の正式決定を受け、平成18年7月に「チャレンジ! おおいた国体」国東市実行委員会を設立し、競技施設や競技用具等の整備を行うと同時に、国体開催に向けたウエイトリフティング競技の普及活動、花いっぱい運動などの市民運動の高揚に取り組んでまいりました。また、大会の運営面においては、県民体育大会や全九州ウエイトリフティング選手権大会を国東市で開催する中で競技運営技術の習熟に取り組んでまいりました。

何分にも初めての全国大会ということで、不慣れた大会運営にも関わ

らず、精一杯の競技を見させていただいた選手の皆様、大会運営においてご指導・ご協力をいただいた日本ウエイトリフティング協会や九州各県の役員の皆様、連日にわたり受付案内や選手関係者への湯茶等の接待、会場環境美化等の活動にご協力をいただきました市民協力員の皆様に国東市実行委員会事務局を代表いたしまして深く感謝申し上げます。

さて、平成20年9月のチャレンジ! おおいた国体まで10ヵ月余りとなりました。リハーサル大会での反省点や経験を生かし、選手が競技に専念できる環境づくりと大会運営技術の一層の習熟を図り、国東市に來られる選手・監督・役員の皆様を心から歓迎し、大会参加者と市民の皆様が共に交流による歓びと感動を共有できる思い出に残る大会にしたいと考えています。本大会の開催に向けて市民の皆様が身近なところから大会に参加できる環境づくりにも力を入れていきたいと考えておりますので、市民の皆様のご協力をお願いいたします。



▲競技アナウンスや表彰式での賞状の授与などの補助員として、国東高校の生徒の皆さんにご協力をいただきました



▲アストくにさきの正面入口前に市内25の小中学校の児童・生徒が描いた各都道府県を応援する看板が並び、選手を勇気づけました



▲多くのボランティアの皆さんに受付・案内や会場環境美化などの活動により、競技会運営のお手伝いをさせていただきました